

令和7年度運輸安全マネジメント検証と対策

1. 令和7年度検証

本年はミラーのひっかけ自車物損事故1件、回送時の他車との物損事故2件、車両故障3件の結果でありました。また労務関係では連続運転2件がありました。回送時での他車との接触事故（相手は駐車中）は確認不足による事故であり、慣れによる省力動作が結果として事故につながることになりました。令和7年度の安全目標スローガンである「凡事徹底！！基本動作の徹底、省力なし！」にもかかわらず、この結果は目標到達にはならなかったと思います。目標スローガンを掲げて会社全体に共有、コミットさせる難しさを改めて認識し、今後の進め方をもう一度見直す必要性をあるため、内部監査時にガバナンスの在り方を協議していきたいと思います。また連続運転が2件と毎年の課題となる中、改善策として連続運転の中止を早めに知らせるよう、デジタコの設定変更を来年度は実施する予定であります。運行管理においてはIP無線、自動点呼の導入により運行管理者の負担軽減、緊密なる連絡体制の確立が構築しつつあり、現場と運行管理部のコミュニケーションをさらなるものにしていきたいと思います。乗務員の高齢化も進む中、SAS、脳ドッグ、視野検査を実施しましたがこれからも安全を創る人財投資に惜しむことなく計画投資を行っていきます。

< 令和7年度物損事故・車両故障内容 >

- ① 古口駅でのミラーひっかけ（1件）
- ② 回送時、駐車時の他車との物損事故（2件）
- ③ 高速道でのファンベルト外れ・エアコンのフィルター詰まりの冷却水不循環・ラジエーターの水漏れ（3件）

< 主な経費実績（令和7年度） >

適性診断 19,200 円
月一回の安全会議 23,700 円
塩害ほか車両修理 8,565,139 円
バス購入（大型1台） 33,235,086 円
健康診断（SAS含む） 327,358 円
運行管理者・整備管理者講習 16,000 円
脳ドッグほか 182,040 円
先進性安全補助装置（AI後方カメラ） 57,299,900 円

2.総論

- ① 連続運転 2 件ありました。※本人の確認不足
- ② 物損事故は 3 件であり目標は不達（目標 1 件）
- ③ 車両故障が 3 件あり目標未達（目標 1 件）
- ④ IP 無線や自動点呼の活用し、運行管理の安定、軽減、乗務員の負担軽減に繋がった。
- ⑤ 積極的に山形県バス協会の研修に参加するようし、多くの社員が満遍なく参加できた。
- ⑥ 苦情件数 2 件あり（ごみの回収漏れ、配車遅延、信号無視（信号がないと思い込み））
- ⑦ 安全会議を乗務員主体的に行い、実技訓練は多くの乗務員が積極的に参加してくれた。
- ⑧ AI 後方カメラ（先進性安全装置）の導入や視野検査、脳ドッグほか健康への投資など積極的投資を行った。

3.改善策

- ① デジタコの設定変更（スピード、連続運転）
- ② AI 後方カメラによる事故軽減
- ③ 気の緩み⇒省力動作⇒事故につながるため、安全確認の徹底

スロ－ガン：好事魔多し、油断大敵 基本動作が安全創造

4 目標/数値（令和 8 年度）

- | | |
|-------------------|---------------|
| (1) 重大人身事故（第一当事者） | 0 件（7 年度 0 件） |
| (2) (1) 以外の人身事故 | 0 件（7 年度 0 件） |
| (3) 有責物損事故対前年 | 2 件（7 年度 3 件） |
| (4) クレーム件数 | 1 件（7 年度 2 件） |
| (5) 車両故障 | 1 件（7 年度 3 件） |

5. 予算案

- (1) 車両管理、自動点呼システム（バス紀行） 820,000 円
- (2) 外部講師、月一回の安全会議 30,000 円
- (3) 塩害による下回りの補強、シャシ塗装 5,000,000 円
- (4) 適性診断 30,000 円
- (5) 運行管理者・整備管理者講習 20,000 円
- (6) 健康診断ほか（2回） 300,000 円
- (7) IP無線ランニングコスト 500,000 円
- (8) 車バス購入（大型1台） 48,000,000 円

令和8年4月1日
安全統括者 池田 新